

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	00259	総合計画推進費	総合計画推進費	簡易	1
総合政策室	地域医療の充実	02260	国民健康保険病院建設計画策定事業	国民健康保険病院建設計画策定事業	簡易	2
総合政策室	地域医療の充実	02261	国民健康保険病院建設事業	国民健康保険病院建設事業	簡易	3
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	05193	立地適正化計画策定事業	立地適正化計画策定事業	総合	4 - 5
総合政策室	効率的な行財政運営の推進	05194	都市計画マスタープラン策定事業	都市計画マスタープラン策定事業	総合	6 - 7

事業番号	事務事業名	総合計画推進費	所管課名	総合政策室	令和 5 年度課長名	瀬島 栄史
00259	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名	総合政策係	担当者・シート作成者	竹井絵美
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	まち・ひと・しごと創生法、鏡野町行政評価外部評価委員会設置要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	総合計画の成果指標の達成状況を管理し、最重点施策及び重点施策について外部評価委員会を開催する。 また、第2次総合計画の後期基本計画を「かがみの創生総合戦略」を包含した形で策定したため、総合戦略(地方創生)事業を推進する上で必要となる事業評価と外部評価委員会を開催する。 この委員会における委員報酬、旅費等の経費	総合計画と総合戦略の一体的な策定を令和2年度に行ったため、本事業自体は令和3年度からとなる。 従来は総合戦略推進費として事業を行っていた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 総合計画	ア 総合計画	計画	見込	1	1	1	1	
イ	イ		実績	1	1	1		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 成果の評価が適切に行われる	ア 経営会議で総合点が前年度より上回った施策の数	施策	目標	15	15	15	15	
イ	イ 会議で委員より意見のあった数	施策	実績	7	7	17		
			達成率	46.7%	46.7%	113.3%		
			目標	40	40	40	40	
			実績	44	39	46		
			達成率	110.0%	97.5%	115.0%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町行政評価外部評価委員会を開催する	ア 外部評価委員会開催回数	回	目標	2	2	2	2	
イ 施策評価会議を行う	イ 施策評価会議開催回数	回	実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
			目標		1	1	1	
			実績		1	1		
			達成率		100.0%	100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 鏡野町の行財政	ア 自主的・自律的な行財政運営の確立
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		総合計画推進費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	258	95	387	387	387	292	一般財源	43	79	280	300	300	201	
合計	258	95	387	387	387	292	合計(A)	43	79	280	300	300	201	
財源名称	従事正職員人数						4	4	3	3	3	-1		
	延べ業務事務時間						1,000	1,500	1,500	1,500	1,500			
	人件費計(千円)(B)						3,421	5,043	5,003	5,003	5,003	-41		
	最終予算額		387 千円	予算執行率		72.3%	トータルコスト(A+B)		3,464	5,122	5,283	5,303	5,303	161

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	5年度は組織全体で事務事業評価の質を向上させるための取り組みを行い、経営方針策定の基礎資料となるよう環境の整備を図った。次年度以降は総合的なまちづくりの基本方向を示す総合計画を策定するに当たり、内容及び推進方法等について審議し、町長の付属機関とするため外部評価委員会を改め、総合計画審議会に名称を変更することとする。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	国民健康保険病院建設計画策定事業	所管課名	総合政策室	令和 5 年度課長名	瀬島 栄史
02260	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名		担当者・シート作成者	榎本 美貴
	施策名	11 地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険病院改革プラン		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	新病院建設にかかる調査研究費。令和4年度に測量を開始し、令和5年度に繰り越している。	南側病棟は、平成元年に新築移転以降増築を重ね、平成16年5月に北側病棟を整備して、現在では南側病棟に一般病床48床、北側病棟に療養病床は40床ある。南側病棟は築後30年以上経過し、老朽化の影響が診察にでてきている。病院建設事業では少なくとも5年以上の時間を必要とするため、先行投資していく。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 新病院基本構想・基本計画	ア 構想・計画	件	見込 実績	1 1	1 1	1 1		
イ 新病院建設の敷地測量	イ 敷地測量	回	見込 実績		1 1	1 1		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 土地の面積、境界線、権利等を明確にする	ア 敷地測量の進捗率	%	目標 実績 達成率		100 30 30.0%	100 100 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 測量委託の進捗管理を行う	ア 進捗の確認	回	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%		
イ	イ	回	目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療してもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		04 衛生費		01 保健衛生費		01 保健衛生総務費		26 01 国民健康保険病院建設計画策定事業					事業番号 02260
	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	477	11,135	6,954			-4,181	一般財源	128	10,996	4,408			-6,588	
合計	477	11,135	6,954			-4,181	合計(A)	128	10,996	4,408			-6,588	
財源名称							従事正職員人数	2	2	2				
							延べ業務事務時間	10	400	10			-390	
							人件費計(千円)(B)	34	1,345	33			-1,311	
	最終予算額	6,954 千円		予算執行率	63.3%		トータルコスト(A+B)	162	12,341	4,441			-7,899	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	目的である病院の基本構想、基本計画の策定を終え、敷地測量も完了したため、今年度で本事業の終了とする。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	国民健康保険病院建設事業	所管課名	総合政策室	令和 5 年度課長名	瀬島 栄史
02261	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名		担当者・シート作成者
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険病院改革プラン	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (5 年度~ 10 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和8年度から始まる新病院建築工事に向けて ・設計委託業者を選定、基本設計を策定する ・CM委託業者を選定する ・農業振興地除外申請を行う ・委託費は病院事業会計	新築移転後30年以上経過し、医療需要に応じて増築、大規模改修を繰り返してきた施設は療養環境の狭あい化、老朽化の進行、自然災害による水害等の対策、さらには新興感染症の感染拡大時に備える整備も必要となっている。これらの課題を解決し、鏡野町の地域医療を担う自治体病院として、持続可能な経営と医療提供体制を確保するため、令和3年度に「鏡野町立病院あり方検討委員会」を設置し、新築移転の答申が発出される。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	新病院建設事業 基本設計図書	→	ア	件	見込 実績			1 0	1	0
イ	新病院建設事業 基本設計監修	→	イ	件	見込 実績			1 0	1	0
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	病院関係者等の意見を取り入れ、基本計画・実施計画に沿った内容とする	→	ア	回	目標 実績 達成率			14 15 107.1%	19	9 166.7%
イ		→	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	行政手続業務	→	ア	件	目標 実績 達成率			5 3 60.0%	5	2 150.0%
イ		→	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる
イ	イ 早く手当、治療をしてもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		26	02	国民健康保険病院建設事業					02261
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源			512	3,347	4,217	512	一般財源			266	3,347	4,217	266			
合計			512	3,347	4,217	512	合計(A)			266	3,347	4,217	266			
財源名称							従事正職員人数			2	2	2	2			
							延べ業務事務時間			800	800	800	800			
							人件費計(千円)(B)			2,668	2,668	2,668	2,668			
	最終予算額	512 千円		予算執行率	51.9%		トータルコスト(A+B)			2,934	6,015	6,885	2,934			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	設計業者をプロポーザルにより滞りなく決定したが、スケジュールの都合により基本設計策定については令和6年度に持ち越した。基本設計は令和6年4月中の予定となるが、その後はスケジュール通り技術協力業務委託者選定を行い、実施設計を策定する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	立地適正化計画策定事業	所管課名	総合政策室	令和 5 年度課長名	瀬島 栄史
05193	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名		担当者・シート作成者	榎本 美貴
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	都市再生特別措置法、鏡野町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会設置要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (5 年度~ 7 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町立地適正化計画策定に向けて、策定委員会を開催する。庁内における作業部会を開催する。策定支援を委託するコンサル業者の委託料。委員会における委員報酬、旅費等の経費。	平成26年8月の都市再生特別措置法の改正により、行政と住民、民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進するため創設された。鏡野町でも人口減少や少子高齢化が進行し、財政等を含めた持続可能な都市づくりの推進が必要となっているため策定する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 立地適正化計画	ア 計画(年度毎の成果物含む)	件	見込			1	1	1
			実績			1		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民や有識者の意見を取り入れた内容にする	ア 1名につき2件以上の意見を得る(策定委員10名)	件	目標			20	40	40
			実績			20		
			達成率			100.0%		50.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 策定委員会	ア 開催回数	回	目標			1	2	2
			実績			1		
			達成率			100.0%		50.0%
イ 作業部会	イ 開催回数	回	目標			2	2	2
			実績			2		
			達成率			100.0%		100.0%
ウ 打合せ	ウ 打合せ回数	回	目標			3	3	3
			実績			3		
			達成率			100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 鏡野町の行財政	ア 自主的・自律的な行財政運営の確立
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 05 都市計画費		目 01 都市計画総務費		大 01 中 04 事業 04		予算上の事業名					事業番号				
	3 年度 実績		4 年度 実績		5 年度 実績		6 年度 見込		7 年度 見込		前年比		立地適正化計画策定事業							
予算(千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算(千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	05193						
国庫支出金				2,300	2,300		国庫支出金				2,300	2,300								
県支出金							県支出金													
町債							町債													
その他特財							その他特財													
一般財源			7,495	4,895	2,530	7,495	一般財源			7,324	4,895	2,530	7,324							
合計			7,495	7,195	4,830	7,495	合計(A)			7,324	7,195	4,830	7,324							
財源名称	集約都市形成支援事業費補助金						従事正職員人数				2	2	2	2						
							延べ業務事務時間				800	800	800	800						
							人件費計(千円)(B)				2,668	2,668	2,668	2,668						
	最終予算額		7,495 千円		予算執行率		97.7%		トータルコスト(A+B)				9,992	9,863	7,498	9,992				

1枚目

事業番号	05193	事務事業名	立地適正化計画策定事業	所管課名	総合政策室
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 人口減少や少子高齢化を背景とし、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが大きな課題となっており、こうした中、都市全体の構造を見直し、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考えで進めていくことが重要となっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 今まで取り組んだことの無い事務事業のため、改革・改善はない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 若者が転出ししない、子どもを増やせる安心したまちづくりを行ってほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 まちづくりは町が取り組むべき重要な施策であり、その施策を計画的に行うことを目的とするため、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 概ね20年後の町の姿を見据えてどのようなまちづくりをするか方針を決める計画であるため、町が実施すべきである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 今後財政面、経済面において持続可能な都市経営とするための計画であり、対象及び意図は妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 今後も関係各所及び町民のニーズを把握するなどし計画策定を進めることで、より良い計画となる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 計画策定を廃止・休止した場合は、持続可能な都市づくりの推進が滞る。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 今まで取り組んだことの無い事務事業のため、改革・改善はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 計画策定の委託費等、必要最低限な事業費であるため削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最小限の人員で策定を行っているため、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 本計画の対象区域は都市計画区域であるが、地域生活拠点として富・上齋原・奥津の各地区も地域生活拠点として定めることが出来るため、公平・公正となっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本計画への庁舎内での理解を深めるべく職員向けの説明会を開催したり、町民1,000人を対象としたまちづくりに関するアンケート調査や町民を代表する公募委員を含む策定委員の皆様から貴重なご意見を頂いた第一回策定委員会を行った。一からの策定のため、効率的に進められているとは言い難い部分も有るが、今後も様々な方のご意見等伺いながら計画策定に向けて推進していきたい。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 コンサル業者及び各関係課と調整を図りながら進める。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

事業番号	事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	所管課名	総合政策室	令和 5 年度課長名	瀬島 栄史
05194	政策名	5 みんなでつくる里づくり	係名		担当者・シート作成者	榎本 美貴
	施策名	53 効率的な行財政運営の推進	根拠法令等	都市計画法、鏡野町都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会設置要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (5 年度~ 7 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町都市計画マスタープラン策定に向けて、策定委員会を開催する。庁内における作業部会を開催する。策定支援を委託するコンサル業者の委託料。委員会における委員報酬、旅費等の経費。	平成4年の都市計画法改正により規定された「市町村の都市計画に関する基本的な方針」である。人口、人や物の動き、土地の利用のしかた、公共施設の整備などについて将来の見通しや目標を明らかにし、今後の鏡野町をどのようにしていきたいかを具体的に定めるため策定する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 都市計画マスタープラン	ア 計画(年度毎の成果物含む)	件	見込 実績			1 1	1	1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民や有識者の意見を取り入れた内容にする	ア 1名につき2件以上の意見を得る(策定委員10名)	件	目標 実績 達成率			20 20 100.0%	40	40 50.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 策定委員会	ア 開催回数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	2	2 50.0%
イ 作業部会	イ 開催回数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	2	2 50.0%
ウ 打合せ	ウ 打合せ回数	回	目標 実績 達成率			3 3 100.0%	3	3 100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 鏡野町の行財政	ア 自主的・自律的な行財政運営の確立
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 05 都市計画費		目 01 都市計画総務費		予算上の事業名 都市計画マスタープラン策定事業					事業番号 05194
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			2,141	2,908	2,589	2,141	一般財源			2,002	2,908	2,589	2,002	
合計			2,141	2,908	2,589	2,141	合計(A)			2,002	2,908	2,589	2,002	
財源名称							従事正職員人数			2	2	2	2	
							延べ業務事務時間			800	800	800	800	
							人件費計(千円)(B)			2,668	2,668	2,668	2,668	
	最終予算額	2,141 千円	予算執行率	93.5%	トータルコスト(A+B)				4,670	5,576	5,257	4,670		

1枚目

事業番号	05194	事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	所管課名	総合政策室
------	-------	-------	-----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 人口減少や経済の低迷、公共交通の衰退等都市づくりの諸課題に対応するため、土地利用や都市施設の整備について、町がどのような都市を目指していくのか長期的な都市づくりの考え方を示すことが必要とされている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 今まで取り組んだことの無い事務事業のため、改革・改善余地はない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 若者が転出ししない、子どもを増やせる安心したまちづくりを行ってほしい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 都市づくりは町が取り組むべき重要な施策であり、その施策を計画的に行うことを目的とするため、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 概ね20年後の町の姿を見据えて、どのような都市をめざしていくのか方針を決める計画であるため、町が実施すべきである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 都市づくりの諸課題に対応するための計画であり、対象及び意図は妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 今後も関係各所及び町民のニーズを把握するなどし計画策定を進めることで、より良い計画となる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 本計画は都市の諸課題に対応するための計画であり、今後の都市づくりにおいて重要な計画となる。また、同時策定の立地適正化計画の上位計画となり、立地適正化計画は本計画に即して策定するものであるため、廃止・休止することはできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 今まで取り組んだことの無い事務事業のため、改革・改善はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 計画策定の委託費等、必要最低限な事業費であるため削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最小限の人員で策定を行っているため、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 本計画は町全体の都市づくりの考え方を示すものとなるため、公平・公正となっている。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本計画への庁舎内での理解を深めるべく職員向けの説明会を開催したり、町民1,000人を対象としたまちづくりに関するアンケート調査や町民を代表する公募委員を含む策定委員の皆様から貴重なご意見を頂いた第一回策定委員会を行った。一からの策定のため、効率的に進められているとは言い難い部分も有るが、今後も様々な方のご意見等伺いながら計画策定に向けて推進していきたい。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 コンサル業者及び各関係課と調整を図りながら進める。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)